

関西国際空港熱供給株式会社 様

取材・画像ご提供、ご協力:
関西エアポート株式会社 様
関西国際空港熱供給株式会社 様

24時間365日、動き続ける空港島内建物の快適環境創造に 2000RTの大型吸収冷凍機が貢献

関西国際空港熱供給様は、地域冷暖房システムにより、1994年日本で初めての完全24時間空港として運用を開始した関西国際空港様へ熱供給を行っています。旅客ターミナル、ホテル、鉄道駅、貨物施設などの空港機能を支える多数の施設内に、24時間365日、主に冷暖房用の熱源として、冷熱・温熱(冷水・蒸気)を供給しています。

- 【空港概要】
- 所在地 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 他
 - 敷地面積 1期空港島:約510ha
2期空港島:約545ha
 - 延床面積 (第1ターミナルビル)303,943㎡
 - 共用開始 1994年9月



▲4F国際線出発フロア

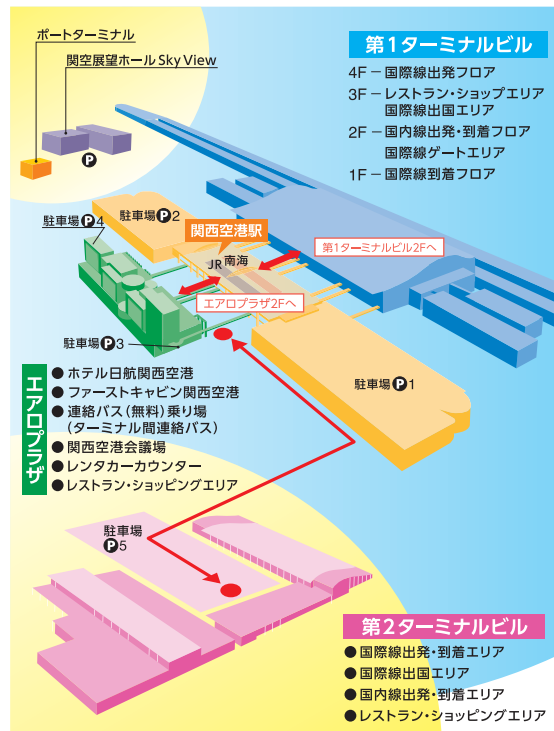


▲2F国内線出発エリア



▲地域と共生し快適な環境を守る関西国際空港

施設概要



納入機器概要



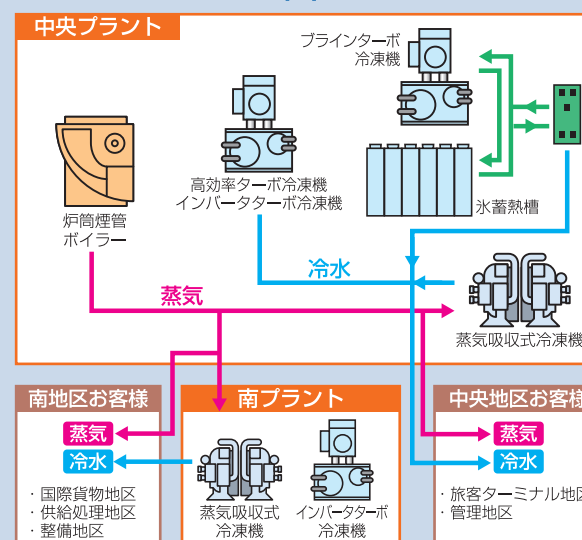
▲機器上部にメンテナンススペースを確保



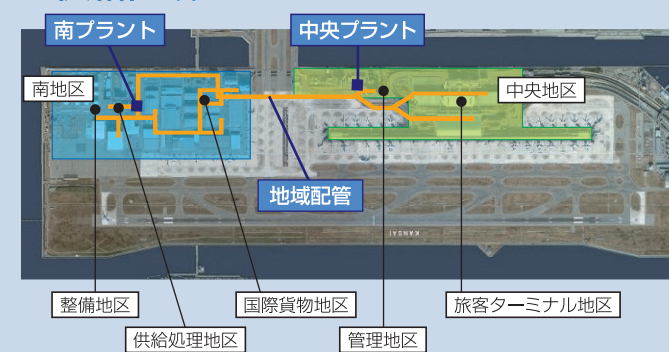
▲関西国際空港熱供給株式会社 様

南北長4kmを超える空港島内への各施設に熱供給を行うにあたり、中央・南の各地区にプラントを設け、冷凍機を分配配置されています。今回当社の2000RTのナチュラルチャーを中央プラントにご採用いただき、状況に応じた多様な運用の更なる効率化に貢献しています。

システムフロー図



供給区域



■納入機器
蒸気二重効用吸収冷凍機 QJW-HS20XES×1基
■担当
近畿支店 空調営業部